



越谷市議会議員

福田あきら

活動報告レポート『GET GOAL!』 2021年夏号 No.

40,41
合併号

〒343-0046 越谷市弥栄町4-1-120

TEL/ FAX 048-978-3335

Mali info@akira-fukuda.com HP http://akira-fukuda.com



※本活動報告レポートは、福田あきら自身が構成(文書/デザイン)をすべて担当しており、最小限の費用にて作成しています。(IT企業出身である強みを活かしています)

防災士 社会福祉士
環境経営士

ネット市役所を構築せよ

パソコン・スマートフォンの操作支援等の強化をあわせて要望

行政手続きの80%以上をオンラインで可能に

6月定例議会 一般質問より

行政手続きのオンライン化の推進について

【質問】

オンライン化の目的は？またオンライン化の対象になる手続きの数と目標は？

【市長答弁】

さまざまな行政手続について、インターネットを活用することで、市民が市役所に足を運ぶことなく、いつでもどこでも申請や届出を行うことが可能な仕組みの充実を図ること。このことにより、市民の利便性を向上させるとともに感染症が大流行した場合などは、人と人との接触機会を減らし、行政サービスの質を維持することができる。また対象となる手続きは約1,200あり、**令和7年度までに80%以上をオンライン化する目標**を立てている。

【質問】

2022年度から国によって、住民台帳や税金など17業務における自治体のシステムの標準化が進められるとのことだが、行政手続きのオンライン化に影響は？

【市長答弁】

国からの仕様の開示については適時確認して、確実に対応していく。

重要



オンライン化が進んでも利用できない人が多くては意味がありません。ご年配を中心に、操作等を学べる環境も必要です。



ネット市役所を構築するべき

【質問】

オンライン化しても周知されず、利用されなければ意味はない。何々システムをオンライン化しましたという広報ではなく、『ネット市役所開設しました』というような大々的な宣伝と、越谷市ホームページにオンライン用手続き専用のポータルサイト(案内ページ)が必要と考えるが？

【市長答弁】

オンライン化した際には、多く利用してもらいたい。次期のホームページリニューアル時にしっかりと検討していきたい。

【要望】

デジタルデバイド※の社会が広がっている、こうした格差を是正をする必要がある。高齢者への操作指導などの取り組みの強化を願う。

※デジタル・デバイドとは、「インターネットやパソコン等の情報通信技術を利用できる者と利用できない者との間に生じる貧富や機会、社会的地位などの格差」

6月定例議会 請願より

請願 再生可能エネルギー主力電源化の実現に向け国への意見書提出を求める件

＜請願の要旨＞

国は、第6次エネルギー基本計画において、総発電電力量に占める再生可能エネルギーの割合の目標値(2030年、2050年)を「1.5℃目標」が達成できるように大幅に引き上げること。国は、脱炭素社会に向けて、再生可能エネルギー主力電源化の実現に向けた推進と政策転換を早急にすすめること。

＜主な請願理由＞

気候変動の被害を最小にするために、産業革命から1.5℃未満の気温上昇に抑制することは世界共通の認識となっている。2021年4月22日、23日にはホワイトハウスで気候サミットが行われ、各国で温室効果ガス削減目標の積み上げを行い、日本も2030年26%減から46%減と大幅に目標を上げている。「2050年実質ゼロ」「1.5℃目標」をめざすと同時に、原発に依存しない社会をつくり、安心安全・持続可能な電源を主力電源に選択していくことが求められている。

私の賛成理由

世界各国の動きを見てわかるようにまさに温暖化対策は待ったなしである。身近なこととしても、多発するゲリラ豪雨や台風によって道路冠水、床下/床上浸水、河川の氾濫危機などの恐怖を感じることも多くなった。そして真夏は猛暑が続き健康被害や農作物への影響なども避けられない。今、私の中にあるのは、純粋に子どもたちやその先の未来に生きていく方々に最低限、今と同程度の環境を残してあげなくてはいけないという強い思いである。そのために、今行動することは現代人の最低限の義務であると認識している。越谷市を含む埼玉県東南部地域5市1町の首長が今年4月26日「ゼロカーボンシティ」共同宣言も行なったが、これは、あるべき姿である。市民、企業、行政一丸となって進めていかなければ、目標の達成はありえない。その一体となる活動の流れ作ることが今の政治に求められていることを私をはじめ各議員は強く認識しなければならないと思っている。

尚、請願は本議会にて賛成多数で採択されました。



福田あきら(46歳)プロフィール

【所属会派】立憲・市民ネット

【常任委員会】環境経済・建設常任委員会

1975年越谷市に生まれる(昭和50年5月28日生まれ)
1982年清浄院幼稚園卒園
1988年越谷市立桜井南小学校卒業
1991年越谷市立越谷北中学校卒業
1994年埼玉県立越谷北高等学校理数科卒業
1998年法政大学法学部法律学科卒業
2000年現:伊藤忠テクノソリューションズ(株)入社
⇒IT企業のサラリーマンとして10年勤務
2011年越谷市議会選挙初当選
2015年2期目当選 2019年3期目当選

●資格 社会福祉士/防災士/情報セキュリティマネジメント
宅地建物取引士/環境経営士など
●家族 妻と長男、次男、チワワ2匹
●サッカー選手としての経歴
・越谷フットボールクラブ(小学校1年~6年/社会人)
・水戸ホーリーホック【現Jリーグ2部】
・国民体育大会(国体)サッカーや全国社会人サッカー
選手権優勝など**三度の日本一を経験**
・越谷市サッカー協会副会長
・越谷市スポーツ少年団本部長



日々情報
発信中

公式ホームページ
越谷市議会議員
福田あきら



ブログ
福田あきらの
政治家日記



★電話による市民相談窓口 048-978-3335

基本:平日10:00~18:00大変恐縮ですが、番号通知(表示)がある方のみ対応となります。もし留守電の場合は要件を録音願います。確認後、折り返し連絡させていただきます。

高齢者のごみ出しの課題について

【質問】

一般廃棄物処理基本計画改定（以下処理基本計画）において、高齢者のごみ出しの課題についてどのような議論がされてきたのか市長に確認する。

【市長答弁】

令和3年度からの一般廃棄物処理基本計画の策定に当たり、廃棄物減量等推進審議会において、ごみの減量・資源化に関する市民アンケートの調査結果やパブリックコメントを参考にすると、協議を重ねてきた。市民アンケートでは、高齢化の進展に伴う今後のごみ収集体制についてどのような方法がよいか調査したところ、ステーション方式とふれあい収集を組み合わせた方法が全体の約54%を占めるなど、現状の方法の継続を望む意見が多い結果となっている。また、審議会においては、超高齢社会の進展に伴うごみ収集問題は、今後ますます重要となる課題であるとのご意見を頂いた。現在、本市が行っているふれあい収集制度は平成30年4月から対象要件を緩和し65歳以上の独り暮らしの世帯を（続く）

小中学校の照明をLEDに

【質問】

電気料金の削減効果が大いことや、脱炭素社会の中、社会的な使命としてもLED化を進めていく必要があると考える。また避難所である学校は、割れない照明が必要であり、そうした危機管理の面からもLED化は早急に実施すべきと考えるが？



（続き）高齢者のみに構成される世帯とするなど制度の拡充に努めている。要件緩和により、利用件数は平成30年4月の379件から令和3年3月末現在の501件と、ここ数年は平均で年間40件程度の緩やかな増加となっている。高齢者の中には、ごみ当番を通して自治会や近隣とのつながりを維持したいとお考えを持っている方もおり、こうした声にも配慮しながら、高齢者の方々が無理なく安心してごみ出しが行える環境整備が必要と考えている。今後さらに独り暮らしの高齢者等の増加が見込まれる中、**屋内から粗大ごみなどの持ち出しを行う際のサポートの拡充**なども含め、より利用者に寄り添った対応について、様々な角度から検討していく。

ふれあい収集について
越谷市では、ごみ集積所にごみを出すことが困難な高齢者や障がいのある方のご自宅まで収集に伺っています。合わせてお声をかけ、安否の確認も行います。



【教育長答弁】

学校施設の照明のLED導入については、省電力化に伴う間接的な二酸化炭素の低減による環境保護やエネルギーコスト削減だけでなく、発熱も少ないなどメリットも多いと認識をしている。特に小中学校の施設のうち、災害時の避難所となる側面を持つ屋内運動場の照明に関しては、非構造部材の耐震補強工事に伴い、小学校8校、中学校2校の合計10校分がLED照明に改修を完了しており、その他の学校についても、既存照明の故障対応時など、順次改修を進めている。教育委員会としては、残りの屋内運動場はもとより、校舎内の照明に関しても、補助金の活用を視野に入れ、財源の確保や財政負担の軽減を図る観点から、他市の実施状況も注視しつつ、整備手法について検討し、照明のLED導入に取り組んでいく。

予算規模 一般会計 1032億円（前年度▲2.3%）

歳入（収入）ポイント 厳しい財政

- ①市税（前年度約▲25億円）となる⇒大幅減
- ②財政調整基金（市の貯金）を35億円取り崩す

歳出（支出）ポイント 重点施策

- ①子育て
 - ・本市2か所目となる病児保育の開設
 - ・保育支援システムの導入など
- ②災害対策
 - ・まるごとまちごとハザードマップの事業
 - ・総合防災ガイドマップの全戸配布
 - ・避難所Wi-Fi環境整備
 - ・防災アプリの提供



（共用が開始された越谷市役所新庁舎）

注目事業①

越谷市そのものをハザードマップに

まるごとまちごとハザードマップ

想定最大規模の洪水における浸水深に関する情報を水害関連標識として生活空間である“まちなか”に表示することにより、日常時から水防災への意識を高めるとともに、浸水深・避難所等の知識の普及・浸透等を図り、災害発生時には命を守るための市民の主体的な避難行動を促し、被害を最小限に抑えることを目的とする。

●ハザード情報看板の対象河川

洪水時に市内全域に大きな影響のある「利根川」市内を流れ、大きな影響が生じることが懸念され、市民の関心の高い「元荒川」「新方川」「綾瀬川」⇒0.5m以上の浸水となる地域を表示の対象とする。

【令和3年度事業内容】

| | |
|--------------------|-------|
| 想定浸水深看板（市内全域） | 114カ所 |
| 避難所誘導看板（66施設 各2カ所） | 132カ所 |

注目事業①②
私も継続的に
提言してきました



注目事業②

高齢者の移動手段を確保するために

デマンド型乗合タクシー

公共交通空白地域を改善する策としての新たな公共交通の手段「デマンド型乗合タクシー」の試験運行。このサービスは、路線バスの路線などが利用しづらい地域において、「自宅」から「登録された乗降施設」までを、乗合タクシーにより送迎を行うもの。



●利用できる方

新方地区内で、新方川の東側にお住まいの方

●運行期間

令和3年6月上旬～令和3年11月下旬予定

●運行日時

月曜日～金曜日（平日のみ）※祝日は運休
午前9時～午後6時

●利用方法

- ①事前に利用者登録が必要です
 - ②利用日1週間前から前日までに予約が必要です
- ※空き状況により当日予約も可能です

●利用料金

新方地区内の施設は、1人1回300円
新方地区外の施設は、1人1回500円
※未就学児は無料

●登録された乗降施設

新方地区内及び新方地区境から500m以内の施設（合計58施設）